

# メールマガジン埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.313 2020.8.24

## 県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」 8月23日(日曜日)放送「主要会派代表者に聞く1」

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様様や各委員会委員長のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

**こんにちは  
県議会です**

主要会派代表者に聞く①

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、8月23日(日曜日)に放送した「主要会派代表者に聞く1」の内容をお伝えします。

☆放送スケジュールなど詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。>>

### INDEX



#### 県議会広報

こんにちは県議会です  
「主要会派代表者に聞く1」

- 埼玉県議会自由民主党議員団 小島信昭団長
- 無所属県民会議 岡 重夫代表



#### 議事堂の花

生け花のご紹介



### 県議会広報

#### 【こんにちは県議会です「主要会派代表者に聞く1」】

〈埼玉県議会自由民主党議員団 小島信昭団長〉

南第12区 さいたま市岩槻区選出

平成12年、埼玉県議会議員初当選(現在6期目)

平成24年、第114代埼玉県議会議長を務め、平成29年3月、埼玉県議会自由民主党議員団団長に就任

団長 県民の皆さま、こんにちは。埼玉県議



会自由民主党議員団、団長の小島信昭で

す。県民の皆さまにはわが党に対して日ごろから多大なご支援、ご支持を賜り厚く御礼申し上げます。

私たち自由民主党議員団は埼玉県議会最大会派として、時代の潮流をしっかり捉え、県民の皆さまの安心・安全、埼玉の活力維持に全力で取り組んでおります。どうぞよろしく願いいたします。

—今年前半は新型コロナウイルス感染症への対応に追われたのではないのでしょうか。—

**団長** 新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々に、深く哀悼の意を表するとともに、感染された皆さまの1日も早い回復をお祈りいたします。本県においても感染者数が増加する中、わが党は最前線で対応に追われる医療機関や福祉施設の方々、飲食店や中小企業の経営者の皆さま、保健所に電話がつかないとお困りの方々など広く県民の皆さま方の切実な声を受け止め、要望という形で知事に提言する活動を続けてまいりました。

営業自粛や外出自粛など県民の皆さま方のご協力の下、全県を挙げて感染拡大防止に取り組んだ結果、一時は感染拡大のスピードが緩やかに落ち着きを取り戻したかに見えましたが、再び新規陽性者数が急速に増加するなど、先の見えない憂慮すべき状況が続いています。

—このような状況で必要な取り組みはどのようなものがありますか。—

**団長** 今なすべきは、今後予想される新型コロナウイルスとの長期戦において、県民の皆さまの命と生活を守り抜く観点からの医療提供体制の構築と、皆さまが安心して医療や福祉のサービスを利用したり、働くことができる日常生活の安心を取り戻すことです。



新しい生活様式の下、社会経済活動を維持しながら、いかに感染拡大を防いでいくのか難しい段階に入っています。県民全体で知恵を出し、実効性のある取り組みを行わなければなりません。

—実効性のある取り組みとはどのようなもののでしょうか。—

**団長** 県は先日、感染拡大に備えた新たな病床確保計画を発表しました。入院患者数などに応じた四つの段階ごとに、必要となる病床数を設定し、ピーク期には1,400病床を確保するという計画です。

計画はできても、実際に病床の確保はできるのか、県民や事業者の方々に対して行う協力要請は実効性を伴っているのか、県議会最大会派としてしっかりとチェックして、時に軌道修正する責務があると考えています。

—感染症対策が適切かをチェックすることは大切ですね。—

**団長** コロナ対策をさまざまな点から調査、検証し、知事に提案を行うため、6月定例会において、わが党が提案した「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」が設置されました。この委員会において、私が委員長にご選出いただきました。同じく副委員長に選出されたわが党の本木茂議員をはじめ10名の議員と、他の会派の議員の皆さまと共に、県民の代表として、知事に万全の危機管理体制の構築を働き掛けてまいります。

—感染症対策の課題はほかにもありますか。—

**団長** 新型コロナウイルス感染症の県民生活への影響は、医療、福祉、経済、雇用、教育など多岐にわたり、県内経済の回復に向けた取り組みなど、息の長い対策が必要なものでございます。これらを行っていくには、財

源の確保が不可欠です。わが党はこれまでもこのような緊急事態に備えた財源の確保について、知事に提言を行ってまいりました。県税収入の減収が見込まれており、県の貯金に当たる財政調整基金も底を突いている状況であります。県民や企業の皆さまに必要な支援を継続していけるよう、引き続き財源確保について提言を行ってまいります。

—今後重点的に取り組む事案はほかにもありますか。—

**団長** 今回の感染症の対応において、本県が人口比で日本一医師の数が少ないことが大きく問題視されています。わが党の働き掛けによって順天堂大学医学部附属病院の誘致が実現するところでもあり、一日も早い開業が待ち望まれます。開業に向けた取り組みを引き続き進めてまいります。



また、令和元年東日本台風の被災者への支援とともに、豪雨や台風による水害のリスクに対する戦略的な取り組みをしっかりと進め、強靱な県土づくりを進めてまいります。

また、本県が、持続可能な成長と発展を続けるための、交通網の整備や、AIなどICT技術を活用した産業の活性化、また、少子高齢化社会への対応についても取り組んでまいります。

—それでは、最後に、今後の抱負をお聞かせください。—

**団長** 私たち自由民主党議員団は、この激動の社会情勢を的確に捉え、常に先を見据えた対策を講じてまいります。県民の皆さまに安心安全をお届けできるよう、団員一丸となって全力で取り組んでまいります。

[▲トップへ](#)

#### 〈無所属県民会議 岡 重夫代表〉

東第6区 白岡市・宮代町選出  
平成19年、埼玉県議会議員初当選（現在4期目）  
令和元年5月、無所属県民会議代表に就任

**代表** 皆さま、こんにちは。無所属県民会議の岡重夫です。私たちの会派は無所属議員14名で構成する県議会の第2会派です。特定の政党に属していないからこそ国や県に対しても忖度（そんたく）することなく、県民の皆さまの声を伝えるよう活動しております。



—新型コロナウイルス感染症拡大の影響について、お考えをお聞かせください。—

**代表** 埼玉県では、緊急事態宣言解除後、感染者数もいったんは落ち着きましたが、6月後半から再び増加しています。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、治療中の皆さまの一日も早い回復をお祈りいたします。緊急事態宣言によって、私たちの生活様式も大きく変わりました。テレワークによる仕事が普及してきた一方で、テレワークではできない医療や保育や介護関係、さらには輸送や清掃、スーパーで生活必需品を販売する方など多くの皆さまのおかげで私達の生活は支えられていることを改めて認識しました。6月定例会ではその感謝の想いを「決議」としてまとめる

ため、決議文の起案や呼び掛けにわが会派の議員も奔走しました。結果として、全会一致での可決につながりました。

—議員として又は議会としての在り方についてのお考えをお聞かせください。—

**代表** われわれ議員は、想いを寄せるだけではなく、実際にこの新型コロナウイルス感染症の脅威や影響をできる限り抑える責務があると考えています。私たちはこの間もそれぞれの地元の皆さまから困っている事や要望などを、直接伺ってまいりました。こうした声を議会で発言や提言を行い、大野知事などに対し要望を行ってきたところです。



—どのような内容だったのでしょうか。—

**代表** 2月4日に「緊急要請」を知事に提出したのを皮切りに、2週間に一度のペースで会派から議会を通して、「新型コロナウイルスの影響により経営環境が厳しい医療機関には、感染者の受け入れに関わらず、県が支援しコロナ後への対応を進めること」といった要望事項を県執行部に伝えてまいりました。

—今後力を入れて取り組む分野はどのようなものでしょうか。—

**代表** 力を入れて取り組みたい分野は四つあります。

一つ目は「危機管理体制の強化」です。新型コロナウイルス感染拡大前の2月定例会の代表質問で、私は危機管理の対応の基本的な考えを記した「埼玉県危機管理指針の見直し」を提言しました。大野知事から「実効性のあるものに見直していく」との答弁を得ていますので、今後の災害や感染拡大時に役立つように見直し作業の加速化を進めていきます。

—二つ目の取り組みたい分野はどのようなものでしょうか。—

**代表** 二つ目は、「中小企業・個人事業主」への支援です。県内企業の新型コロナ関連の倒産も確認されています。6月定例会の一般質問でもわが会派から、「県内企業の経営立て直しや経営を安定させる手立てを検討すべきだ」と提言しました。知事からは「財政的支援だけではなく、相談体制や第2波に備えた経営支援を行っていく」という答弁がありましたので、具体化されるように、私たちは引き続き求めていきます。

—三つ目の取り組みたい分野はどのようなものですか。—

**代表** 三つ目は、「教育の充実」です。3月から約3カ月間に及んだ休校は、子どもたちの学習面だけではなく体力・健康面、そして教職員にも大きな影響を与えました。一方で、オンライン教育の必要性も認識されるようになりました。オンライン教育の推進は、会派としても先進地視察を行うなど研究を重ねてきた分野です。普及に向けた取り組みや効率的な運用について、さらに提言を重ねてまいります。



また、受験や就職といった進路選択を控えた高校生に対して、そのフォローアップにも努めたいと思います。

—四つ目の分野についてはいかがでしょうか。—

**代表** 四つ目は、「児童虐待防止対策」です。児童虐待防止には早期発見

と、通報があった場合の迅速な安全確認が重要です。新型コロナによる休校やステイホームが、虐待のリスクを高めたとも言われています。そこで、児童相談所の児童福祉司などの人員を増やすことを求めています。

—最後に、今後の抱負をお聞かせください。—

**代表** 6月定例会最終日には「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」が新たに設置されました。会派からは、並木正年議員、平松大佑議員、金野桃子議員の3名が参加します。これまでの新型コロナ対策の検証と今後の対応を検討する重要な委員会と位置付けています。私たちは、無所属県民会議の名の通り、より自由闊達(かっただつ)な議論を議会全体に呼び掛け、議会の活性化・透明化についてもリードしてまいります。

<次回の放送予定>

8月30日(日曜日)午前10時～10時15分「主要会派代表者に聞く2」

【出演議員】

埼玉民主フォーラム 田並尚明代表  
埼玉県議会公明党議員団 西山淳次団長

9月6日(日曜日)午前10時～10時15分「主要会派代表者に聞く3」

【出演議員】

日本共産党埼玉県議会議員団 柳下礼子団長

[▲トップへ](#)

## 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花を作者のコメントともにご紹介します。

【協力 埼玉県いけばな連合会】



◆展示期間

7月6日～7月10日

◆作者

松風花道会 中川玲水様

◆花材

アガパンサス、アオキ、マリーゴールド、クルクマ、ひごすだれ

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



### 〈松風花道会 中川玲水様〉

Q:らせん状の装飾はすだれでしょうか。独特な形状ですね。

A:インパクトがあるひごすだれを使って作りました。議事堂では四方から作品を見ていただくので、どの角度から見ても花の造形を楽しんでいただける作品に生けました。

Q:全体的な色合いが、初夏の涼やかなイメージにぴったりですね。

A:涼しげで爽やかな雰囲気を与えてくれる作品に仕上げました。緑色だけだと物足りないので、マリーゴールドやふ入りのアオキで鮮やかな黄色を足しています。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

#### 【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

#### 【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》](#)

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail [a6250-03@pref.saitama.lg.jp](mailto:a6250-03@pref.saitama.lg.jp)

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

